

平成30年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、その心身の健康増進、機能回復を図り、もって障がい者の社会参加を促進した。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、大会開催後のオリンピック・パラリンピックレガシーとして、夢を叶え目標を達成した選手・役員等が本県の障がい者スポーツを牽引し、障がい者が地域においてさまざまなスポーツ体験や活動ができる環境が本県のスポーツ文化として恒久的に遺るため、必要なさまざまな角度からアプローチを行い、関係団体と連携しながら選手の発掘・育成・強化を行うとともに、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

2 事業内容（概要）

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境の整備や、全国障害者スポーツ大会の出場等を通して、障がい者の社会参加の促進を図った。

①団体スポーツ活動支援事業 7件

ア 県内障がい者福祉団体への助成

イ 県内新規障がい者スポーツ団体

②福島県障がい者総合体育大会の開催

期 日：平成30年5月20日（日）会場：いわき市他

参加者：11競技1,602人

③全国障害者スポーツ大会選手団の派遣事業

期 日：平成30年10月11日（木）～16日（火）

会 場：福井県

派遣人数：71名（選手42名、役員29名）

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者が安心してスポーツに取り組める環境を整備するため、障がい者スポーツ指導員の指導技術を高める他、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図った。

①初級指導者養成講習会の開催

実施日：平成30年7月14日（土）～16日（月）

受講生：21名

②ふくしまパラコーチ支援事業 5名指定

③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営支援

④障がい者スポーツ医科学サポート事業

- ・各大会への障がい者スポーツ医の派遣 3件
- ・各種学会での発表 3件
- ・医科学委員会の開催 平成30年6月11日

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

①選手指導者組織育成支援事業 1件

②団体競技強化支援事業 3団体

(知的バスケットボール、車椅子バスケットボール、サッカー)

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

2020年東京パラリンピックに向け、障がい者の積極的な活動を通じた社会参加及び自立を促進するため、本県選手の発掘・育成・強化を行うとともに、競技指導者・競技団体への支援を行い、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

「パラリンピック選手等育成強化事業」

①各種助成事業 24件

全国スポーツ競技会等出場への助成(13件(9団体・4個人))

②運動導入教室の開催 毎週木曜日開催他 全72回 延べ558名参加

③地域スポーツ教室開催事業 6支部で実施

各種教室 全54回開催

各種大会 全6回開催

参加者 延べ1,338名参加

④種目別教室の開催

実施種目 12種目 全77回実施

参加者 1,687名

⑤県内各障がい者スポーツ大会への支援 7件

⑥国際障がい者アスリート・指導者育成のためのドーピング講習

1回開催 延べ6名(選手4名)参加

⑦ふくしまパラアスリート支援事業

14名指定

(5) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発に当たった。

①各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 1回

②日本障がい者スポーツ学会への出席 3名

(6) その他の事業

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安心して参加するために主催者に対し助言・支援を行った。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力をし、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

さらに、地域において障がい者スポーツの振興を深めるため、各地域でスポーツ教室等を開催した。

① チャレンジド・スポーツ支援事業

(7) 協会の運営

本県の障がい者スポーツの振興を推進していく中核的組織を目指し、組織基盤の充実強化と各種事業の推進に努めた。

① 理事会・評議員会の開催

3 事業内容（詳細）

[公益事業] (1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①団体スポーツ活動支援事業	決算額	302,808 円
目的	県内の障がい者団体等が、地域において主体的に開催する社会参加と自立、日常生活の充実を促すスポーツを通して交流が深まる事業について助成する		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p><u>平成30年度実績</u></p> <p>(1) 県内障がい者福祉団体への助成 助成先：5 団体 助成額：100,000 円（20,000 円×5 団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜多方市身体障がい者福祉会 ・石川地方身体障がい者福祉会 ・相馬身体障がい者福祉会 ・川俣町セルフかえで ・南会津郡身体福祉会 <p>(2) 県内新規障がい者スポーツ団体 助成先：2 団体 助成額：200,000 円（100,000 円×2 団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おのさくらクラブ ・TEAMまきばの朝 		
参考			

事業名	②福島県障がい者総合体育大会の開催	決算額	3,418,992 円																																				
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、併せて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																						
内容	<p><u>大会概要</u></p> <p>期日：平成30年5月20日（日）</p> <p>種目・会場：11競技・会場は下記のとおり</p> <table border="1" data-bbox="424 792 1350 1462"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>いわき陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>田村市陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>南部アリーナ</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>いわきサン・アビリティーズ</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合運動公園第2多目的運動広場</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>いわきFCフィールド</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>いわき市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>いわきサン・アビリティーズ</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>精神・聴覚</td> <td>いわき市内郷コミュニティセンター</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>JSSいわきスイミングスクール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立平支援学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：選手 1,602 人、大会・競技役員 384 人、補助員 430 人</p> <p><u>会議</u></p> <p>平成30年4月5日 第56回大会 第2回運営委員会 平成31年2月4日 第57回大会 第1回運営委員会</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	南部アリーナ	サウンドテーブルテニス競技	身体	いわきサン・アビリティーズ	アーチェリー競技	身体	あづま総合運動公園第2多目的運動広場	サッカー競技	知的	いわきFCフィールド	バスケットボール競技	知的	いわき市総合体育館	車椅子バスケットボール競技	身体	いわきサン・アビリティーズ	バレーボール競技	精神・聴覚	いわき市内郷コミュニティセンター	水泳競技	身体・知的・精神	JSSいわきスイミングスクール	ボッチャ競技	身体	福島県立平支援学校
競技種目	障がい種別	会場																																					
陸上競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場																																					
フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場																																					
卓球競技	身体・知的・精神	南部アリーナ																																					
サウンドテーブルテニス競技	身体	いわきサン・アビリティーズ																																					
アーチェリー競技	身体	あづま総合運動公園第2多目的運動広場																																					
サッカー競技	知的	いわきFCフィールド																																					
バスケットボール競技	知的	いわき市総合体育館																																					
車椅子バスケットボール競技	身体	いわきサン・アビリティーズ																																					
バレーボール競技	精神・聴覚	いわき市内郷コミュニティセンター																																					
水泳競技	身体・知的・精神	JSSいわきスイミングスクール																																					
ボッチャ競技	身体	福島県立平支援学校																																					
参考																																							

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業（福井しあわせ元気大会）	決算額	10,256,510 円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議で選考された選手を本県代表として派遣する。また、北海道・東北ブロック予選会を突破した団体競技について本県代表として本戦へ派遣する。		
内容	<p><u>第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）への選手団派遣</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成30年10月11日（木）結団式 12日（金）公式練習 13日（土）開会式 14日（日）大会2日目 15日（月）閉会式 16日（火）帰県（解団式） ・派遣人数：選手42名、役員29名 ・大会規模：参加選手3,277名、役員2,414名 ・出場競技 個人競技：5競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知）（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知） 団体競技 1競技 バレーボール（身） <p><u>「全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）」選手選考会議</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：福島県 ・期日：平成30年6月1日（金） 		
参考			

[公益事業] (2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	336,747 円
目的	<p>県として障がい者スポーツ指導者を養成し、県内の各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的に、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。</p>		
内容	<p><u>平成30年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催</u> 実施日：平成30年7月14日（土）～7月16日（月） 会場：あづま総合運動公園内体育室及びサブアリーナ他 受講生：21名 共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会 後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p> <p><u>講習カリキュラム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本障がい者協会公認スポーツ指導者制度について ・全国障害者スポーツ大会について 〔（公財）福島県障がい者スポーツ協会〕 ・障がいに応じたスポーツの導入・工夫・実施 ・障がい者スポーツの意義と理念 〔（一社）コ・イノベーション研究所〕 ・ボランティア論、安全管理 ・障がい者福祉施設と障がいスポーツ 〔仙台市障がい者スポーツ指導者協議会〕 ・障がいの理解とスポーツ1 〔福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター〕 ・障がいの理解とスポーツ2、3 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕 ・選手との交流 〔福島県ボッチャ協会〕 		
参考	<p>福島県スポーツ推進基本計画で、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱されている。また、教育関係者が受講しやすいように教育委員会に共催とした。</p>		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）	決算額	0 円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる人材の育成を促し、安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>指導者が上級専門資格取得のための講習会等に参加する際の必要経費について、助成を行う。</p> <p>※平成30年度助成実績（申請）なし。</p>		
参考			

事業名	③ふくしまパラコーチ支援事業	決算額	36,602 円
目 的	指導者が中央競技団体等の主催する研修会への参加する場合や、全国大会・国際大会へ参加する場合に助成を行い、指導環境のレベルアップを図る。		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>本県の障がい者スポーツの競技力向上の推進役として期待できる指導者を「ふくしまパラコーチ」に指定し、指導者が中央競技団体等の主催する研修会等へ参加する場合や、全国大会等へ参加する場合に必要な経費について支援する。</p> <p>・平成30年4月16日に選考委員会を開催し、ふくしまパラコーチ5名を指定した。</p> <p>ふくしまパラコーチ（5名）</p> <p>(1) 村上 光輝</p> <p>(2) 佐藤 聡</p> <p>(3) 若松 伸司</p> <p>(4) 要田 忠継</p> <p>(5) 久保木 洋輔</p>		
参 考			

事業名	④福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,540 円
目的	<p>当協会の内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、支部（6支部7地区）」による地域スポーツの振興、競技部による専門競技団体との連携、専門指導力及び当事者の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するために、福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営を支援する。</p>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会 開催日：平成30年5月26日（土） 会 場：太陽の国厚生センター ・役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施 ・各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催 		
参考			

事業名	⑤障がい者スポーツ医科学サポート事業	決算額	56,303 円
目的	障がい者スポーツ関係事業を安全に実施していくことに加え、適切な運動動作等による競技力向上を図ることを目的とする。		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>障がい者スポーツ医を構成員とした医科学委員会の中で、医師の知見を踏まえ、季節毎のスポーツの取り組み方等のガイドラインを作成し、指導者や選手等に配付する。</p> <p>(1) 各大会への障がい者スポーツ医の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第56回福島県障がい者総合体育大会（平成30年5月20日） 2名派遣 ・2018 北海道・東北パラ陸上競技選手権（平成30年7月21～22日） 2名派遣 ・第18回全国障害者スポーツ大会（平成30年10月11～16日） 1名派遣 <p>(2) 学会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第29回臨床スポーツ医学会（平成30年11月2～3日） ・第14回日本シーティング・シンポジウム（平成30年11月17～18日） ・第28回日本障がい者スポーツ学会（平成31年2月2～3日） <p>(3) 第1回医科学委員会の開催</p> <p>期日：平成30年6月11日 会場：福島県県庁北庁舎1階</p>		
参考			

[公益事業] (3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	6,050 円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。</p> <p>また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援を必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い、競技環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックを目指す選手への支援 <p>遠藤 裕美（ボッチャ競技）</p>		
参考			

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	1,660,128円
目的	第18回全国障害者スポーツ大会（（福井しあわせ元気大会））北海道・東北ブロック予選会への参加や強化合宿等の実施により、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p><u>助成先</u></p> <p>(1) 知的バスケットボール競技（男女）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道東北ブロック予選 バスケットボール競技 実施日：平成30年5月26日～27日 会場：秋田市立体育館 結果：男子 1回戦敗退 女子 第3位 助成額：203,743円 ・2018FIDジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会 実施日：平成30年8月4日～5日 会場：東京都北区赤羽体育館 東京都立赤羽商業高等学校 結果：男子 4戦全敗 女子 3戦中1勝2敗 助成額：690,700円 <p>(2) 車椅子バスケットボール競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道東北ブロック予選会 車いすバスケットボール競技 実施日：平成30年6月16日（土）～17日（日） 会場：岩木山総合運動公園体育館 結果：2位 助成額：343,772円 <p>(3) 知的サッカー競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道東北ブロック予選 サッカー競技 実施日：平成30年6月23日（土）～24日（日） 会場：仙台泉総合運動公園 結果：3位 助成額：226,854円 		
参考			

[公益事業] (4) 障がい者スポーツ選手の競技力向上

事業名	①各種助成事業	決算額	443,428 円
目的	<p>パラリンピックやデフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>全国大会等に出場する選手に対して財政的支援を行う。</p>		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>(1) 全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手（団体競技含む）役員に対し、経費の一部を助成した。ただし、上限は10万円まで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体数 延べ9件 TEAM EARTH スペシャルオリンピクス日本・福島 福島アクロス シッティングバレーボールクラブ「ブディッカー」 (一社) 福島県聴覚障害者協会 ・個人数 延べ4件 齋藤 正明 (2018 函館マラソン) 伊藤 洋美 (第13回東北ブロック視覚障がい者サウンドテーブルテニス大会、2019 東京マラソン) 木村 千栄美 (2019 東京マラソン) 		
参考			

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,137,047 円
目 的	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい児には遊びを通して身体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動を通して社会参加・自立・復帰の促進を図る。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア（キッズ）選手を発掘するとともに障がい者スポーツの裾野拡大を図る。</p>		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>障がい者が運動を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具等についての相談・指導を行った。</p> <p>・実施期日 平成30年4月5日（木）～平成31年3月28日（木） 郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日 福島会場：随時開催</p> <p>実施回数 72回</p> <p>実施場所 郡山市障害者福祉センター 福島市立第2小学校 体育館、NCVふくしまアリーナ</p> <p>参加者数 延べ558名</p> <p>指導員 理学療法士3名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 整形外科医1名（障がい者スポーツ医有資格者） 補装具アドバイザー1名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 自動車整備士1名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者） 障がい者スポーツ指導者2名（スポーツコーチ、中級等上級資格者）</p>		
参 考			

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	1,017,727 円
目 的	<p>地元自治体や障がい者スポーツ指導者協議会の各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進することを目的とする。</p>		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県北支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：11回開催 チャレンジカップ2018：1回開催 ・ 相双支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：4回開催 DANDANスポーツ大会：1回開催 ・ 県中支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：11回開催 エンジョイスportsフェスティバル：1回開催 ・ いわき支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：9回開催 いわきSportsフェスティバル：1回開催 ・ 会津支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：19回開催 会津障がい者Sports大会：1回開催 ・ 県南支部 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室：10回開催 F a n F u n Sports大会：1回開催 <p>各主教室 延べ54回開催</p> <p>各主大会 延べ6回開催</p> <p>参加者数 延べ1,338名</p>		
参 考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	2,934,654 円
目的	<p>パラリンピックや全国障害者スポーツ大会（公開競技含む）などの種目競技において、選手の育成・強化と普及・拡大を一本化するスポーツ教室を開催する。夏季パラリンピック（2020年）・冬季パラリンピック（2028年）等、各競技日本選手権大会などへの出場を目指し、選手の競技力を向上を図るとともに、スポーツを習慣とする愛好者の拡大を図る。</p>		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>①障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身に付け、得意分野を発見できるように様々な種目のスポーツ教室を開催した。</p> <p>②障がい者が専門スポーツ競技団体と交流することで、団体への参加を促し、国内・国際大会への出場を目指すなど、それぞれの目標に向かって生きがいを持つことができるよう機会の提供を図った。</p> <p>・実施種目 12種目</p> <p>陸上競技（全15回開催、参加者数延べ421名）</p> <p>フライングディスク競技（全13回、参加者数延べ521名）</p> <p>サッカー（全8回、参加者数延べ217名）</p> <p>ボッチャ（全10回、参加者数延べ222名）</p> <p>卓球（全4回、参加者数延べ33名）</p> <p>バスケットボール（全8回、参加者数延べ157名）</p> <p>サウンドテーブルテニス（全4回、参加者数延べ50名）</p> <p>アーチェリー（全3回、参加者数延べ19名）</p> <p>水泳（全4回、参加者数延べ11名）</p> <p>バドミントン（全3回、参加者数延べ4名）</p> <p>クロスカントリースキー（全1回、参加者延べ17名）</p> <p>ハンドバイク（全4回、参加者延べ15名）</p>		
参考			

事業名	⑤県内各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	453,564 円
目 的	<p>各競技のスポーツ教室、練習会等に参加した選手が、練習成果の発揮や上位大会を目標とすることで、競技力向上及び競技継続の意欲を高める。</p> <p>また、障がい者スポーツへの理解・関心の拡大を図るため、競技活動の広報に努め、障がい者スポーツの普及・振興と裾野拡大を促進する。</p>		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して開催経費の一部を助成した。障がい者スポーツ団体が財政的に苦しい中で開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を行った。</p> <p>対象大会 7大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 5 5 回福島県ろうあ者スポーツ大会 ・2018 北海道・東北パラ陸上競技選手権大会 ・第 1 9 回福島県障がい者フライングディスク大会 ・第 2 2 回福島県障害者スキー大会 ・第 1 3 回 S F I D A - C A P ・2018 東日本 F I D バスケットボールフェスティバル兼第 1 2 回会津レッドブルズ杯バスケットボール大会 ・MSVL・みちのくリーグ戦福島大会 		
参 考			

事業名	⑥国際障がい者アスリート支援事業	決算額	10,725 円
目 的	国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。また、国際舞台で活躍できる人材を育成する。		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>各競技の強化選手及び指導者に対し、国際大会等に日本代表として出場する心構え及びドーピング等に係る講習会を開催した。</p> <p>実施期日：平成31年3月28日</p> <p>実施回数：1回</p> <p>実施会場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>受講生数：延べ6名（選手3名）</p>		
参 考			

事業名	⑦ふくしまパラアスリート支援事業	決算額	1,683,529 円
目的	世界を舞台に活躍が期待できる障がい者アスリートが中央競技団体、個人で実施する強化練習会や国際大会へ参加する場合に必要な経費について支援を行い、競技力の向上に資する。		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有望な選手を「ふくしまパラアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等に参加する場合に必要な費用を支援した。 ・平成30年4月16日に選考委員会を開催し、ふくしまパラアスリート14名を指定した <ol style="list-style-type: none"> (1) 齋藤 由希子 (陸上競技) (2) 佐藤 智美 (陸上競技) (3) 佐々木 真菜 (陸上競技) (4) 庭瀬 ひかり (陸上競技) (5) 緑川 秀太 (陸上競技) (6) 豊島 英 (車いすバスケットボール競技) (7) 森谷 幸生 (車いすバスケットボール競技) (8) 吉田 信一 (卓球競技) (9) 半谷 静香 (視覚障害柔道競技) (10) 遠藤 裕美 (ボッチャ競技) (11) 加藤 紗織 (ボッチャ競技) (12) 高橋 剛志 (車いすテニス競技) (13) 橋本 勝也 (車いすラグビー競技) (14) 遠藤 雅輝 (水泳競技) <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月5日、(公財)福島県体育協会と合同で指定証交付式やオリンピック(遠藤尚氏)・パラリンピアン(鈴木猛史選手)の講話及び専門家(東海大学スポーツ心理学研究生)の講義を聴く『スタートダッシュミーティング』を開催した。 		
参考			

事業名	協会広報紙の発行	決算額	0 円
目 的	賛助会員に対して、協会広報紙を発行し、情報提供を行う。		
内 容	<p><u>事業概要</u> 広報誌の発行 ※平成30年度発行実績なし。</p>		
参 考			

[公益事業] (5) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	47,550 円
目的	<p>各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。</p> <p>また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と共同研究をし、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。</p>		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>(1) 会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度障がい者スポーツ協会・指導者協議会合同会議 <p>開催日：平成31年3月5日（火）</p> <p>会 場：ベルサール東京日本橋</p> <p>出席者：公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会職員 1名 福島県障がい者スポーツ指導者協議会職員 1名 福島県担当 1名</p>		
参考			

[公益事業] (6) その他

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	1,318,805 円
目 的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内 容	<p><u>事業概要</u></p> <p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト団体奨励金を活用した事業</p> <p>(1) サントリーチャレンジド・アスリート奨励金 車いす7台購入 (車いすバスケットボール体験会ほか各種教室等で使用)</p> <p>(2) チャレンジド・アスリートビジット等開催協力 各小学校、中学校での体験教室開催に協力した。</p> <p>①福島県立飯舘村立草野・飯樋・白石小学校&飯舘中学校 ②相馬市中央児童センター第2児童クラブ ③双葉郡檜葉町立檜葉北・南小学校 ④田村市立緑小学校</p>		
参 考			

事業名	人件費	決算額	9,154,146 円
目 的	協会の運営及び事業執行に従事する職員に対する経費		
内 容	<p>○公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会職員 3 名 書記 1 名、臨時事務職員 1 名、嘱託員 1 名 (その他、福島県総合体育大会開催業務として臨時事務職員 1 名×3 月)</p>		
参 考			

[法人会計] (7) 協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	393,063 円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費の他、行政財産使用料、インターネット管理費及びプロバイダー契約料などの使用賃借料など。		
内容	<p>会議の開催</p> <p>(1) 理事会</p> <p>第1回理事会 平成30年6月11日(月)</p> <p>「平成29年度事業報告・収支決算について」他</p> <p>臨時理事会 平成30年7月31日(火)</p> <p>「理事長及び副理事長の選定について」他</p> <p>第2回理事会 平成31年3月11日(月)</p> <p>「平成31年度事業計画・収支予算について」他</p> <p>(2) 評議員会</p> <p>第1回評議員会 平成30年6月26日(火)</p> <p>「平成29年度事業報告・収支決算について」他</p> <p>第2回評議員会 平成31年3月25日(月)</p> <p>「平成31年度事業計画・収支予算について」他</p> <p>(3) 監事監査</p> <p>平成30年6月6日</p> <p>「平成29年度事業報告・収支決算について」</p>		
参考			

事業報告書の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。